



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.10.12 No.00723

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 10.19】
 奨学生卓話.全星さん
 米山奨学委員会

次回のプログラム

【通常例会 10.26】
 ライラ参加報告
 新世代委員会

10月の主な行事：職業奉仕月間、米山月間

第722回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長
 ローターソング：奉仕の理想
 ゲ ス ト：なし
 ビ ジ タ ー：秋田光祥さま(竜ヶ崎 RC)

会長報告：長友芳郎



■竜ヶ崎クラブの秋田様ようこそ。先般は厄除けのお払いありがとうございました。お陰様ですつきりしました。米山月間で。皆様のご協力をお願いいたします。職業奉仕

月間にちなんで本日は職業奉仕のフォーラムです。荒木先生の仕事の都合でお休みです。横山さんに司会進行をお願いします。

■ロータリーの職業奉仕は Vocational Service で、日本語訳では天職論の話になり、利益追求の観点ではありません。ヨーロッパではロータリーの会員は世襲制が多いと聞きます。職業においても同様のようです。ヨーロッパのシェルドンのモットーに対する批判は根強く、RIBIからモットー廃止の決議案 29-7 提案までされています。一方、シェルドンは利益追求の観点から Service 学を展開しています。利益追求における人間関係や社会の調和をはかる為の自然の法則が Service 学であると主張します。事業の継続は利益追求が必要であるが、与えることを先にして、相手に満足を与えることをしなければいけないと言っています。職業は学問の実践だと述べています。己を知り成長させること。他の仲間のことを知ること。事業を知ること。知識を適用すること。これらが Service につながる道と述べています。これらのことはロータリーの根底の考えになっています。自然の法則が形而上の理想なら、生身の現実世界でその理想を実践できるのがシェルドンの Service 学と言えるのではないかと

と思います。それを実践することは自ずと人間関係の調和をはかることになり、社会にも貢献することになると思います。

幹事報告：川上 勉



■ふれあい広場 2012 が開催されます。13日、13時よりテント張りをおこないます。又14日は本番です。午前9時までに集合願います。「100円くじ」次年度の Junior Volunteer 生の募集が中心となります。宜しくお願い致します。

■ふれあい広場 2012

今年もやってきました。Junior Volunteer にとっては、とても重要な日で来年の活動にも影響します。



本日のプログラム

職業奉仕月間に因んで



■今月は職業奉仕月間です。この職業奉仕とはなかなか理解にくいと皆が口を揃えて言います。それで、今回は職業奉仕について皆で考えてみることにしました。

最初に、特定の会員に現在の職業奉仕感を訊ねてみました。それぞれの考え方があって私も大変勉強になりました。次に会長からシェルドンが描く奉仕感を述べてもらった。シェルドンのご存じのように自分が経営するビジネススクールにおいて販売学を教える中で、継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献する必要があるのだと言う。そして、取引というのは、両者の間に精神的満足がなければ安定した利益を上げることができない。よって、倫理性を持った商行為だけが信用という無形の財産を築き、それによって事業が繁栄するのだと説いた。経営学は、He Profits most who serves best に基づくサービス学である。即ち、ここに職業奉仕の根幹があるのだという説明であった。

では、ロータリーという職業奉仕はどう捉えればよいのだろうか。亀尾会員によると答えは明白。手続要覧に載っていると申します。それは、「職業奉仕に関する声明」である。「**職業奉仕とは、あらゆる職業に携わらる中で、奉仕の理想を生かして行くことを、ロータリーが育成、支援することである。**」そして、職業奉仕の理想に込められたものは、①あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進することである。(雇主、従業員、同僚への誠実さ、また、同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な取り扱いも含まれる)。②あらゆる有用な職業の価値を認める。③社会のニーズに職業上の手腕を役立てる。

このフレーズ。どこかで聞いたような気がしませんか。そうです。綱領の第1条第2項であります。①事業および専門職務の道徳的水準を高めること。②あらゆる有用な業務は尊重されるべきである。③業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。即ち、第3項も含めて、ロータリーは奉仕の理想に込められた職業奉仕を育成、支援する団体であるのです。

ではどのように実践すればよいのだろうか。しかし、ちょっと待って下さい。言行はこれに照らしてから。そう「四つのテスト」です。①真実かどうか ②みんなに公平か ③行為と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか 以上のことを今一度飲み込んでOKならば次のステップ実践へと進むことがとても重要なのです。それは「ロータリアンの職業宣言」最近変更された「ロ

ータリーの行動規範」に載っています。

- ①すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
 - ②職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。
 - ③高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。
 - ④他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
 - ⑤社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
 - ⑥若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。
 - ⑦ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切に、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
 - ⑧事業または専門職上の関係において普通には得られない便宜ないし特典を同輩ロータリアンに求めないこと。
- つまり、ロータリーという職業奉仕は、あらゆる職業に携わらる中で、奉仕の理想を生かして行くことであり、言行をする前に「四つのテスト」を照らし、「ロータリーの行動規範」に沿って実践行動することである。

そう考えると、ロータリーは綱領からも見えるように職業奉仕を鼓舞育成する団体であることは明白であるのだが、何故かRIの紹介では、ロータリーは、事業と専門職および地域社会のリーダー約120万人が集まる国際的組織です。ロータリークラブの会員は「ロータリアン」と呼ばれ、**人道的奉仕を行いながら、すべての職務における高い倫理基準を奨励し、世界の親善と平和の確立に寄与しています。** となっているのだ。(横山会員)



出席状況

会 員	16 名	出席率	68.75 %
出 席 者	8 名		
出席免除者	2 名	Make-up	3 名
(定款第9条3節a)	1 名	椎塚・荒木・米島会員	

ニコニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 2 件 4,000 円 (本年度累計 154,000 円)

秋田さま：久方にメークです。
横山会員：米山月間です。宜しくお願い致します。

例会の欠席は、**水曜日 AM:10:00 までに 城出 SAA**
TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。